



公益財団法人 **中東調査会**  
Middle East Institute of Japan  
المعهد الياباني لبحوث الشرق الأوسط

2019年  
01月15日  
No.A18-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2018年12月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップミーティング

・12月7日(金)、山内 昌之氏(東京大学名誉教授、武蔵野大学特任教授、中東調査会常任理事)「中東複合危機の現状」(於:ホテルオークラ)。



#### <要旨>

冒頭、中東地域で複数の危機が複合的に発生している状態であると指摘し、今後の中東情勢の趨勢に影響を与える要因として、イランの核合意、シリア紛争、イスラエルとイランの対峙などを挙げ、それぞれ説明した。その他、カシヨギ死亡事件をめぐるトルコとサウジアラビアの動きについて述べた。

#### (2) 中東情勢講演会

・12月7日(金)、内藤 正典氏(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、中東調査会参与)「トルコは何を目指しているのか?」(於:同志社大学東京サテライト・キャンパス「セミナー室」)。

#### <要旨>

講師より、トルコの針路を読み解くカギとして冷戦時代におけるトルコの政策、世俗主

義のイメージを捨てた経緯が示された。また、カシヨギ殺害事件、サウジアラビアのMbSが求める政策について、またこれらに対するトルコの目標について説明があった。その他、対EU関係、外交方針が冷戦時代の同盟関係から敵対的共存へと変化した過程が述べられた。



・12月17日(月)、香川 剛廣 国際貿易・経済担当特命全権大使「エジプトの視点からの中東情勢」(於:日本記者クラブ「会見場」)。



#### <要旨>

講師より冒頭、エジプトの中東地域における位置づけ、中東地域の構造的な不安定要因と現在の諸問題について概説があった。その

うえでイラン、サウジ、トルコ、米国の内政や外交政策に対するエジプトの見方を説明した。また、中東和平プロセスにおけるエジプトの立場、域外のロシア、中国との関係を解説し、最後にエジプトの国内産業の発展を国内、地域の安定につなげることの重要性と、そこで日本が担いする役割について説明した。また、エジプトが地域的な役割を高める可能性、ムスリム同胞団の動向などについて質疑応答があった。

## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2018年12月号(2019年01月15日付)
- 1. アフガニスタン：カブールの政府関連施設への襲撃
- 2. イラク：アメリカのトランプ大統領の来訪
- 3. サウジアラビア：内閣改造
- 4. トルコ：F-35 戦闘機の追加導入時期について言及
- 5. パレスチナ：憲法裁判所による立法議会解散と総選挙に関する判決

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東分析レポート【会員限定】

- ・No.6「シリア復興とロシア・中国・イランの動向」(11月28日付、12月17日公開)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

### (3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.17「対日脅威情報：「シャーム解放機構」が日本の対シリア支援に異例の言及」(12月10日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

### (4) 中東かわら版の発行

- No.90「カタール：OPEC 脱退を表明」(主席研究員 高岡豊、12月03日)
  - No.91「イラン：チャーバハールでのテロ事件」(研究員 近藤百世、12月07日)
  - No.92「イスラエル：アラブ諸国との関係正常化を模索」(研究員 西舘康平、12月12日)
  - No.93「バハレーン：国会議員の改選と新内閣発足」(主席研究員 高岡豊、12月12日)
  - No.94「イラン：ファーウェイ CFO の拘束とイラン・中国関係の動き」(研究員 近藤百世、12月13日)
  - No.95「シリア：アメリカが完全撤退の方針を表明」(主席研究員 高岡豊、12月20日)
  - No.96「サウジアラビア：諜報機関再編案を発表」(研究員 金谷美沙、12月25日)
  - No.97「クウェイト：内閣改造」(主席研究員 高岡豊、12月26日)
- ※内容はホームページをご参照ください。  
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

## 3. その他

### (1) 要人往来

- ・12月1日、G20 首脳会合出席のためブエノスアイレスを訪問中の安倍晋三首相が、トルコのレジェップ・タイップ・エルドアン大統領と会談した。
- ・12月14日、ヨルダン訪問中の河野太郎外相が、サファディ外務移民相と会談した。
- ・12月15日、カタール訪問中の河野太郎外相が、アブドラー・ビン・ナーシル・ビン・ハリール・サーニー首相兼内務相を表敬した。
- ・12月15日、カタール訪問中の河野太郎外相がムハンマド・ビン・アブドゥルラフマン・アール・サーニー外相と外相会談をした。